

2021. 4

(地独) 京都市産業技術研究所 デザインチーム (担当:比嘉, 竹浪, 木戸)
kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91
TEL : 075-326-6100 (代表) FAX : 075-326-6170 (事務局)

No. 24 京都工芸研究会便り

1. トークライブ「工芸な人々」 YoutubeLive! 2/25

YoutubeLIVEを用いてトークイベント「工芸な人々」Vol.3を
オンライン生放送で開催しました。

過去2回にわたって「工芸な人々」と題して、多くの一般参加者とともに、京都の伝統産業の魅力と課題について直接対話によるディスカッションをしてまいりました。しかし、コロナ禍の状況における感染リスクを鑑み、また新たな挑戦として、第3回となる今回はYoutubeLIVEによるオンライン生放送に取り組みました。オンラインでの生放送は、我々事務局も事業企画チームの皆様も初体験のため、配信の仕組みや機材についてイチから学ぶことも多くありました。無事に放送できるのはもちろん、照明や音声の調整、テロップ挿入、効果音、番組進行など、新しい知識や技術を短期間に身につけることは容易ではありませんでしたが、事務局も事業企画チームの皆様も一丸となって、無事実現に至りました。

今回のテーマは「後継・継承」。番組は緊張感とリラックスが綯い交ぜとなった独特の雰囲気ではまりました。出演者が時間を区切って入れ替わる「変則リレー形式」を採用しました。話し足りなかつたかもしれませんが、テンポ良く話者が交代することで、たくさん話題を盛り込めたと思います。司会は竹工芸・喜節の細川秀章さん。穏やかな口調と当意即妙なトークで、作り手同士だからこそ通じ合える本音を引き出していただきました。研究会会員の皆様もご承知の通り、京都では様々な経歴を持った方が伝統工芸に携わっておられます。家業を継いだ方の職業観や、脱サラしてイチから工芸の道を志した方のドラマ、また最近の若手への期待など各出演者ならではの話題を聞くことができました。語り合ううちに和やかなムードが醸され、次回に繋げるテーマも見出して、滞りなく放送を終えることができました。



京都工芸研究会Youtubeチャンネルでの配信。
その後の記録動画の再生回数も順調に伸びています。
(3/26現在 180回)



産技研1Fロビーでの生中継の様子。配信用PC,照明や音声の調整とともに、番組進行に新しい知識や技術を使って実施しました。緊張の連続でしたが貴重な経験となり、出演された方からも「楽しい経験だった」と好評いただきました。

コロナ禍によってやむなく行った形式ではありますが、事業企画チームのアイデアと行動力で情報発信の新たな手段を実現でき、得るものも多かった事業となりました。

本事業で得られたノウハウにさらなる改善を加え、情報発信の充実に活かしたいと思っております。

オンライントークライブ「工芸な人々」
開催日：令和3年2月25日(木) 19:00~20:00
実施方法：京都工芸研究会Youtubeチャンネル上で
ライブ配信
見逃した方はこちらからご覧いただけます。
<https://youtu.be/8Uy3pUokhkc>

2. 伝統産業技術後継者育成研修 令和元年度漆工コース・令和2年度漆工応用コース修了作品展

京都市産技研が実施している伝統産業技術後継者育成研修令和元年度漆工コース・令和2年度漆工応用コースの修了作品展が開催されました。昨年3月から延期となっていた漆工コース（修了生6名）は、飾り箱・丸盆・大パネル・花器（3Dプリンタ素地）等令和2年度漆工応用コース（修了生5名）では、重箱・夫婦椀・棗・盆等が展示されました。併せて新商品開発の課題作品もコンセプトパネルとともに披露されました。

3/12（金）には令和2年度修了式が行われました。新しい時代を迎える漆器工芸の業界の担い手となり活躍されるよう祈念いたします。



山崎依神子（令和元年度修了）「Astronomical Clock」



黒飛徳彬（令和2年度修了）「棚田」



金本亮介（令和2年度修了）「漆INK STICK HOLDER」



修了作品展 展示会場の様子

令和元年度漆工コース修了作品展
令和3年2/25～3/1（来場者721名）
令和2年度漆工応用コース修了作品展
令和3年3/3～3/7（来場者524名）

主催（地独）京都市産業技術研究所
共催（公財）京都伝統産業交流センター
後援 京都工芸研究会

場所 京都伝統産業ミュージアム
MOCADギャラリー

▶産技研YouTubeチャンネルで展示内容を配信します。
（YouTubeチャンネルから「京都市産業技術研究所」で検索！）



3. 第4回委員会 3/24

今年度最後となる定例委員会（第4回）をオンライン会議（来所含む）で開催しました。事業の進捗と予算執行、補助金事業対応の現状について事務局から報告を行い、これに対して審議、了承となりました。コロナ禍の先行きの見通しがつかないところですが、来年度の総会をはじめとした研究会事業の取組について意見交換を行いました。

事務局より

- 2021年4-5月の主な予定
- 4月下旬 3 役会議
- 5月中旬 第1回委員会
- * 月1～2回適宜 事業企画チームミーティング

京都工芸研究会フェイスブック（@kyotonokougei）は随時更新しています。ぜひご覧ください！

会員消息（退会）

～長きにわたりありがとうございました～

- 一般財団法人京都陶磁器協会（陶磁器）（2020.7）
（→R3年度から京都陶磁器研究会に加入）
- 竹工房ひさ 藤岡久子（竹工芸）（2020.9）
- 拙貴司男（竹工芸）（2021.1）
- 宮下憲治（竹工芸）（2021.2）
- 公益財団法人京都伝統産業交流センター（2021.3）
（→京都ものづくり協力会に引き続き在籍）